



2021年9月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2021年8月3日

上場会社名 株式会社デコルテ・ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7372 URL https://www.decollte.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 健一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部ゼネラル・マネージャー (氏名) 新井 賢二 TEL 0797 (38) 3692
 四半期報告書提出予定日 2021年8月3日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第3四半期の連結業績(2020年10月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	3,581	30.3	847	190.2	739	237.9	542	341.5	542	341.5	542	341.5
2020年9月期第3四半期	2,749	-	291	-	218	-	122	-	122	-	122	-

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	96.78	-
2020年9月期第3四半期	21.93	-

- (注) 1. 当社は2021年4月15日付の取締役会決議により、2021年5月6日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「基本的1株当たり四半期利益」を算定しています。
2. 希薄化後1株当たり四半期利益について、2021年9月期第3四半期連結累計期間において新株予約権の残高がありますが、希薄化効果を有している潜在株式が存在していないため記載していません。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	11,424	3,789	3,789	33.2
2020年9月期	10,838	3,126	3,126	28.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2021年9月期	-	0.00	-	-	-
2021年9月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日~2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,756	29.6	850	104.0	718	126.0	523	204.0	523	204.0	93.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期3Q	5,670,000株	2020年9月期	5,600,000株
② 期末自己株式数	2021年9月期3Q	-株	2020年9月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期3Q	5,602,308株	2020年9月期3Q	5,600,000株

(注) 当社は2021年4月15日付の取締役会決議により、2021年5月6日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、新型コロナウイルス感染症の影響について、いまだに収束時期等については不透明であるため、今後の事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(会計上の見積りの変更)	11
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、当初は新型コロナウイルスの感染拡大懸念の薄れから個人消費が回復、各種経済指標も改善に向かう局面も見られましたが、感染者数の増減を繰り返す中で首都圏や関西圏など大都市圏を対象に2021年1月から3月にかけて2度目の緊急事態宣言が、また、2021年4月から6月にかけて3度目の緊急事態宣言が発令され、社会・経済活動が制限を受けたことにより再び減速に転じました。ワクチン供給の問題による新型コロナウイルスワクチン接種の停滞や、感染力が強く重症化リスクが高いとされる変異種感染の増加等、新型コロナウイルス感染症の収束は見えておらず、先行きは極めて不透明な状況となっています。

ブライダル業界においては、従来型の挙式・披露宴業態では参列者への配慮からの「3密」回避や、緊急事態宣言等の措置により挙式・披露宴等の内容が制約を受ける中、挙式・披露宴の延期や中止による実施組数の減少が続いています。オンライン挙式や少人数挙式へのシフトを図ることで顧客の要望に応える動きも出ていますが、参列者数の減少による単価の低下もあり、依然として厳しい状況が続いています。

このような経営環境の下、当社グループは2020年11月30日付で挙式事業（和婚スタイルサービス、衣裳レンタルサービス）を譲渡することで既存の挙式・披露宴業態から離れ、当社グループの主力業態であり、市場の将来性と事業の収益性の高いフォトウェディングサービスにより多くの経営資源を投入する体制を整えました。

主力業態であるフォトウェディングサービスにおいては、緊急事態宣言下における政府・自治体の人流抑制施策の影響を一定程度受けておりますが、非接触でコロナ禍においても安心して撮影申込が可能な「オンライン専門相談カウンター」によるオンライン接客の拡充、長距離の移動が制約を受ける中で都市近郊の旅行先でのフォトウェディングサービスを提供する「フォトジェニックジャーニー」の強化等、顧客のニーズをとらえ環境に合わせた施策を実行してまいりました。特にフォトジェニックジャーニーについては、期間限定で運営してきた長野県軽井沢エリアに常設のリゾート型店舗となる「スタジオAQUA軽井沢店」を2021年7月にグランドオープンしており、今後の一層の事業拡大を目指してまいります。

また、アニバーサリーフォトサービスにおいては、東京都台東区に首都圏1号店となる「HAPISTA TOKYO」を2021年4月にグランドオープンしており、今後は多店舗展開による事業拡大を目指してまいります。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は2020年4月および5月のような店舗臨時休業の影響が無く大幅に改善した結果、売上収益は3,581百万円（前年同期比30.3%増）となり、前年同期に比べ832百万円増加しました。営業利益は847百万円（同190.2%増）となり、前年同期に比べ555百万円増加しました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は542百万円（同341.5%増）となり、前年同期に比べ419百万円増加しました。

セグメントレベルの概況は以下のとおりです。

<スタジオ事業>

スタジオ事業においては、上記のとおり、2度目および3度目の緊急事態宣言の影響を受けたものの、フォトウェディングサービスへのニーズの高まりやコロナ禍に対応した施策の実施により、売上収益及び営業利益は堅調に推移しました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント業績は、売上収益3,514百万円（前年同期比31.0%増）、セグメント利益861百万円（同185.4%増）となりました。

・フォトウェディングサービス

2度目および3度目の緊急事態宣言を受け感染リスクを回避する意識が高まったことにより、消費者の動きが制限されたものの、2020年4月および5月のような全店舗の臨時休業には至らなかったことから、既存店の撮影組数は前年同期比15.7%増加しました。また、コロナ禍により挙式・披露宴の延期や中止が増えていることや、結婚式に対する価値観の変化が加速する傾向にあること等により、フォトウェディング等の新たな結婚式のかたちへの関心が高まる中で、顧客のフォトウェディングサービスに対するニーズが広がり、スタジオ+ロケーションなど複数の場所での撮影や、和装・洋装両方の衣裳での撮影など当社の提供するサービスの中でも高単価のサービスの需要が増加したこと等から、既存店の平均単価は16.0%上昇しました。加えて、2020年2月に開店したスタジオAQUA立川店が期初から収益貢献するなどした結果、売上収益は前年同期に比べ815百万円増加し、3,414百万円となりました。

・アニバーサリーフォトサービス

アニバーサリーフォトサービスは2020年4月および5月のような全店舗臨時休業の影響が無かったこと、また、「HAPISTA TOKYO」の新規出店等の結果、売上収益は16百万円増加し、99百万円となりました。

<その他>

フィットネスジムにおいては新型コロナウイルス感染症への警戒感からコロナ禍以前の水準までの回復には至らず、売上収益及び営業利益は4月及び5月に全店舗を臨時休業した前年同期並みで推移しました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント業績は、売上収益66百万円（前年同期比0.6%増）、セグメント損失14百万円（前年同期は9百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,022百万円となり、前連結会計年度末に比べ43百万円増加しました。これは主に売却目的で保有する資産が49百万円減少する一方で、現金及び現金同等物が102百万円増加したことによるものです。非流動資産は9,401百万円となり、前連結会計年度末に比べ542百万円増加しました。これは主に2021年8月開店予定の「スタジオAQUA大宮店」に係る賃貸借契約を締結したこと等により、使用権資産が503百万円増加したことによるものです。

この結果、資産合計は11,424百万円となり、前連結会計年度末に比べ586百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,976百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円増加しました。これは主に借入金が短期借入金の返済を主要因として217百万円、売却目的で保有する資産に直接関連する負債が87百万円減少する一方で、未払法人所得税が293百万円増加したことによるものです。非流動負債は5,657百万円となり、前連結会計年度末に比べ100百万円減少しました。これは主に2021年8月開店予定の「スタジオAQUA大宮店」に係る賃貸借契約を締結したこと等によりリース負債が501百万円増加する一方で、2020年12月に実施したシンジケートローンの借り換え時の一括返済等により借入金が548百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は7,634百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円減少しました。

(資本)

当第3四半期連結会計期間末における資本合計は3,789百万円となり、前連結会計年度末に比べ663百万円増加しました。これは主に、上場時の新株発行により資本金が55百万円、資本剰余金が54百万円増加したことと、利益剰余金が542百万円増加したことによるものです。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は33.2%（前連結会計年度末は28.8%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は1,690百万円となり、前連結会計年度末と比べ102百万円の増加となりました。当第3四半期連結累計期間の各活動におけるキャッシュ・フローとそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは前年同期比1,132百万円増加し、1,272百万円の収入となりました。主な要因は、継続事業からの税引前四半期利益が739百万円となり、減価償却費及び償却費367百万円、その他の負債の増加額94百万円などのキャッシュの増加要因があった一方で、利息の支払額62百万円などのキャッシュの減少要因がありました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは157百万円の支出（前年同期は136百万円の支出）となりました。主な要因は、2021年7月開店の「スタジオAQUA軽井沢店」に係る有形固定資産取得等に起因する有形固定資産及び無形資産の取得による支出が87百万円、「スタジオAQUA大宮店」に係る保証金の差入等に起因する投資の取得による支出54百万円などのキャッシュの減少要因がありました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1,012百万円の支出（前年同期は71百万円の収入）となりました。主な要因は、2020年12月に実施したシンジケートローンの借り換えに起因する長期借入金の借入による収入3,287百万円などのキャッシュの増加要因があった一方で、同借り換えに起因する長期借入金の返済による支出3,788百万円、短期借入金の返済による支出200百万円、主に店舗物件の賃貸借契約に係る賃借料の支払に起因するリー

ス負債の返済による支出277百万円、融資手数料の支払額114百万円などのキャッシュの減少要因がありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2021年6月22日に公表いたしました業績予想を変更していません。新型コロナウイルスの感染拡大による影響は当連結会計年度においては続くと仮定を置いたうえで業績への影響を見込んでいますが、今後の業績動向を踏まえ、業績予想を修正する必要がある場合には、速やかに開示します。

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,588,120	1,690,729
営業債権及びその他の債権	205,887	197,562
棚卸資産	68,239	60,087
未収法人所得税	7,237	17,989
その他の流動資産	59,687	56,165
小計	1,929,172	2,022,534
売却目的で保有する資産	49,706	-
流動資産合計	1,978,879	2,022,534
非流動資産		
有形固定資産	608,460	625,712
使用権資産	2,090,666	2,594,641
のれん	5,635,785	5,635,785
無形資産	202,970	202,294
その他の金融資産	269,757	302,799
繰延税金資産	44,067	34,868
その他の非流動資産	7,426	5,794
非流動資産合計	8,859,135	9,401,895
資産合計	10,838,015	11,424,430

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	456,000	238,514
営業債務及びその他の債務	189,682	182,979
リース負債	358,429	388,507
未払法人所得税	4,584	298,116
引当金	56,252	37,593
契約負債	283,046	290,192
その他の流動負債	517,322	540,989
小計	1,865,318	1,976,893
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	87,969	-
流動負債合計	1,953,288	1,976,893
非流動負債		
借入金	3,946,668	3,398,230
リース負債	1,510,210	2,011,835
引当金	283,667	232,090
繰延税金負債	17,768	15,726
非流動負債合計	5,758,314	5,657,883
負債合計	7,711,602	7,634,777
資本		
資本金	100,000	155,384
資本剰余金	2,700,000	2,754,073
利益剰余金	326,412	868,596
その他の資本の構成要素	-	11,598
親会社の所有者に帰属する持分合計	3,126,412	3,789,652
資本合計	3,126,412	3,789,652
負債及び資本合計	10,838,015	11,424,430

(2) 要約四半期連結包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
継続事業		
売上収益	2,749,123	3,581,673
売上原価	1,585,463	1,943,001
売上総利益	1,163,659	1,638,671
販売費及び一般管理費	755,180	811,699
その他の収益	123,631	52,228
その他の費用	240,212	32,131
営業利益	291,898	847,069
金融収益	3,149	3,341
金融費用	76,084	110,505
税引前四半期利益	218,962	739,904
法人所得税費用	81,981	257,171
継続事業からの四半期利益	136,981	482,733
非継続事業		
非継続事業からの四半期利益 (△損失)	△14,179	59,449
四半期利益	122,801	542,183
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	122,801	542,183
四半期利益	122,801	542,183
その他の包括利益	-	-
四半期包括利益	122,801	542,183
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (△損失) (円)		
継続事業	24.46	86.17
非継続事業	△2.53	10.61
合計	21.93	96.78

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
継続事業		
売上収益	396,050	1,210,719
売上原価	252,950	676,864
売上総利益	143,100	533,854
販売費及び一般管理費	191,018	275,468
その他の収益	121,039	29,084
その他の費用	239,689	26,460
営業利益(△損失)	△166,567	261,010
金融収益	1,062	1,161
金融費用	23,826	29,163
税引前四半期利益(△損失)	△189,332	233,008
法人所得税費用	△62,936	78,240
継続事業からの四半期利益(△損失)	△126,395	154,767
非継続事業		
非継続事業からの四半期利益(△損失)	△38,537	4,601
四半期利益(△損失)	△164,933	159,368
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	△164,933	159,368
四半期利益(△損失)	△164,933	159,368
その他の包括利益	-	-
四半期包括利益(△損失)	△164,933	159,368
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(△損失)(円)		
継続事業	△22.57	27.60
非継続事業	△6.88	0.82
合計	△29.45	28.42

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本 の構成要素	合計		
				新株予約権			
2019年10月1日残高	100,000	2,700,000	154,115	-	2,954,115	2,954,115	
四半期利益			122,801		122,801	122,801	
その他の包括利益			-		-	-	
四半期包括利益合計	-	-	122,801	-	122,801	122,801	
2020年6月30日残高	100,000	2,700,000	276,917	-	3,076,917	3,076,917	

当第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本 の構成要素	合計		
				新株予約権			
2020年10月1日残高	100,000	2,700,000	326,412	-	3,126,412	3,126,412	
四半期利益			542,183		542,183	542,183	
その他の包括利益			-		-	-	
四半期包括利益合計	-	-	542,183	-	542,183	542,183	
新株の発行	55,384	54,073			109,457	109,457	
新株予約権の発行				1,625	1,625	1,625	
株式報酬				9,973	9,973	9,973	
所有者との取引額等合計	55,384	54,073	-	11,598	121,055	121,055	
2021年6月30日残高	155,384	2,754,073	868,596	11,598	3,789,652	3,789,652	

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
継続事業からの税引前四半期利益	218,962	739,904
減価償却費及び償却費	281,444	367,155
金融収益	△3,149	△3,341
金融費用	76,084	110,505
有形固定資産除却損	488	706
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△3,064	△3,284
棚卸資産の増減額 (△は増加)	16,001	8,151
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△125,601	△828
契約負債の増減額 (△は減少)	△128,353	4,326
その他の負債の増減額 (△は減少)	88,532	94,390
その他－純額	20,406	467
小計	441,753	1,318,154
利息及び配当金の受取額	35	9
利息の支払額	△66,526	△62,809
法人所得税の支払額	△172,748	-
法人所得税の還付額	-	17,520
非継続事業からの営業活動キャッシュ・フロー	△61,737	59
営業活動によるキャッシュ・フロー	140,776	1,272,935
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△117,519	△87,977
投資の取得による支出	△24,514	△54,746
投資の売却及び償還による収入	8,437	6,660
その他－純額	△10	-
非継続事業からの投資活動キャッシュ・フロー	△3,052	△21,505
投資活動によるキャッシュ・フロー	△136,659	△157,569
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の借入による収入	200,000	-
短期借入金の返済による支出	-	△200,000
長期借入金の借入による収入	460,000	3,287,000
長期借入金の返済による支出	△268,000	△3,788,424
リース負債の返済による支出	△247,944	△277,532
新株予約権の発行による収入	-	1,625
株式の発行による収入	-	109,457
融資手数料の支払額	-	△114,370
その他－純額	△4,235	△18,673
非継続事業からの財務活動キャッシュ・フロー	△68,447	△11,838
財務活動によるキャッシュ・フロー	71,371	△1,012,756
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	75,488	102,609
現金及び現金同等物の期首残高	952,872	1,588,120
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,028,361	1,690,729

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は、製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。

当社は、事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「スタジオ事業」を報告セグメントとしています。

「スタジオ事業」は、フォトウエディングサービスの提供・アニバーサリーフォトの撮影及び写真加工、アルバム等の製作を行っています。

(2) 報告セグメントに関する情報

報告セグメントの会計方針は、注記「3. 重要な会計方針」で記載している当社グループの会計方針と同一です。

なお、セグメント間の売上収益は、市場実勢価格に基づいています。

前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間におけるセグメント情報は、次のとおりです。

前第3四半期連結累計期間（自 2019年10月1日 至 2020年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注)	合計	要約四半期連結 財務諸表計上額
	スタジオ 事業	計			
売上収益					
外部収益	2,682,708	2,682,708	66,414	2,749,123	2,749,123
セグメント間収益	-	-	-	-	-
合計	2,682,708	2,682,708	66,414	2,749,123	2,749,123
セグメント利益又は損失 (△)	301,821	301,821	△9,922	291,898	291,898
金融収益					3,149
金融費用					76,084
税引前四半期利益					218,962

(注)「その他」は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「フィットネス」が含まれています。

当第3四半期連結累計期間（自 2020年10月1日 至 2021年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント		その他 (注)	合計	要約四半期連結 財務諸表計上額
	スタジオ 事業	計			
売上収益					
外部収益	3,514,838	3,514,838	66,835	3,581,673	3,581,673
セグメント間収益	-	-	-	-	-
合計	3,514,838	3,514,838	66,835	3,581,673	3,581,673
セグメント利益又は損失 (△)	861,472	861,472	△14,403	847,069	847,069
金融収益					3,341
金融費用					110,505
税引前四半期利益					739,904

(注)「その他」は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「フィットネス」が含まれています。

前第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結会計期間におけるセグメント情報は、次のとおりです。

前第3四半期連結会計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント		その他 (注)	合計	要約四半期連結 財務諸表計上額
	スタジオ 事業	計			
売上収益					
外部収益	388,244	388,244	7,805	396,050	396,050
セグメント間収益	-	-	-	-	-
合計	388,244	388,244	7,805	396,050	396,050
セグメント損失（△）	△153,712	△153,712	△12,855	△166,567	△166,567
金融収益					1,062
金融費用					23,826
税引前四半期損失（△）					△189,332

（注）「その他」は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「フィットネス」が含まれています。

当第3四半期連結会計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント		その他 (注)	合計	要約四半期連結 財務諸表計上額
	スタジオ 事業	計			
売上収益					
外部収益	1,188,370	1,188,370	22,349	1,210,719	1,210,719
セグメント間収益	-	-	-	-	-
合計	1,188,370	1,188,370	22,349	1,210,719	1,210,719
セグメント利益又は損失 （△）	266,408	266,408	△5,397	261,010	261,010
金融収益					1,161
金融費用					29,163
税引前四半期利益					233,008

（注）「その他」は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「フィットネス」が含まれています。